

モンゴル経済概況

2017年2月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

【免責条項】

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

目次

1. モンゴルの基礎データ
2. 最近の政治動向
3. 名目GDPの推移
4. 固定資産投資
5. 対外貿易の推移
6. 名目工業生産の伸び率
7. 貨物輸送量
8. 物価(CPI)
9. 予算歳入・歳出伸び率の推移
10. 貸出残高
11. M2の推移
12. 金利
13. 対ドル・対円の為替レート
14. 外貨準備高
15. 主要国別輸出入
16. 主要輸出品目
17. 主要輸入品目
18. 主要国・地域別直接投資額
19. 主要業種別直接投資額
20. 産業別直接投資額
21. 主要国・地域別投資企業数
22. 主要業種別投資企業数
23. 主要外資企業の新規投資事例
24. モンゴル企業の動向
25. 日本からの直接投資
26. 日本との貿易概況
27. 日本との主要貿易品目

1. モンゴルの基礎データ

国名：モンゴル国

面積：156万6,600平方キロメートル

人口：311万7,762人(2016年11月25日現在)

首都：ウランバートル

民族：モンゴル人(全体の95%)およびカザフ人等

言語：モンゴル語(公用語)、カザフ語

宗教：チベット仏教等(1992年2月の新憲法は信教の自由を保障)

政体：共和制(大統領制と議院内閣制の併用)

行政区分：21県、15省

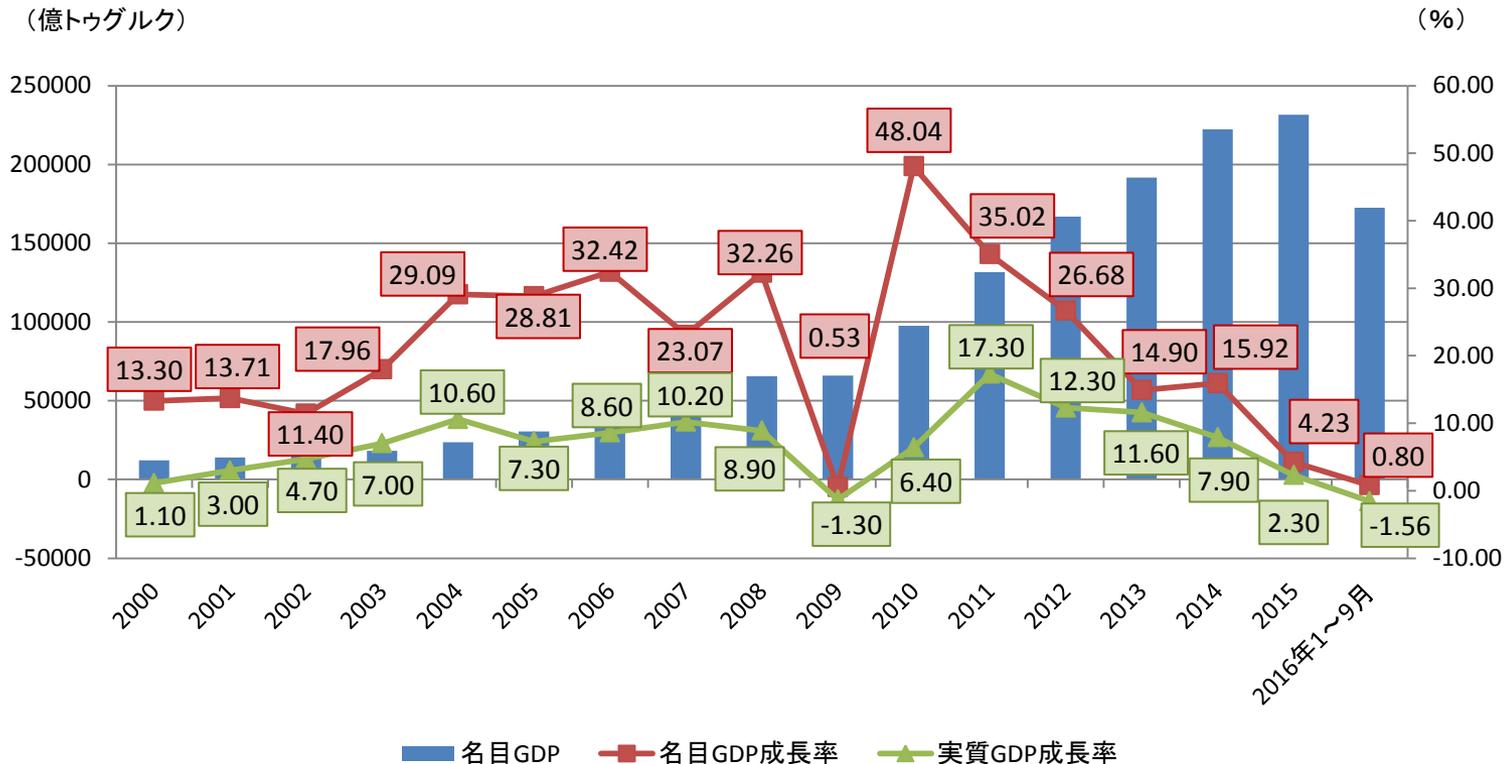
通貨：トゥグルク(100トゥグルク=約4.61円)(2016年11月25日現在)

2.最近の政治動向

- 人民党の新内閣が8月1日に発足した。8月10日に前政権から引き継いだ予算や外貨準備高について詳しい統計を公表した。その後、トゥグルク安が続き、8月10日時点では1ドル2,141トゥグルクであった為替レートが11月25日時点では2,462トゥグルクまで下落した。両党がトゥグルク安の原因を政府の財政赤字や無責任な報道に求め、互いの責任と主張するなど対立が続いている。
- 前首相サイハンビレグが第7回国会総選挙日の前日である6月28日にエルデネット銅鉱山工場のロシア側が所有していた49%の株式を貿易開発銀行が取得したと発表した。その後、9月29日に国会議員ニヤムドルジがその取引に違法性があり、また、この株式取得により国家への納税額も激減したと発表した。ロシア側の株式持ち分を取得する特別権を放棄した前政権の責任や貿易開発銀行の資金調達の合法性を問う論争が巻き起こったが、議論は決着が付かないまま落ち着いた。
- 国会議長エンフボルドが10月14日から17日に中国を公式訪問した。エンフボルド議長は10月19日に「中国に対して利率2%以下、満期20年以上の開発借り入れを要求した。中国のみならず国際金融機関、その他の国と債務返済のための借り入れを検討中」と説明した。
- 11月18日から22日にチベットの仏教の代表ダライ・ラマ14世がモンゴルに9回目の訪問を果たした。中国は、チベット問題を理由に、ダライ・ラマ訪問に対する異議を何度も表明しているにも関わらず受け入れたことに対して非常に不満だとコメントし、エンフボルド議長の要請した借り入れを交渉するため官房長が中国を訪問する予定であったが、延期された。
- 2016年11月10日、モンゴルの2017年度予算が国会で承認された。予算歳出が8.57兆トゥグルク、予算歳入が6.16兆トゥグルクで、過去最大の2.41兆トゥグルクの赤字が見込まれる。一方、タバン・トロゴイなどの大規模の鉱山プロジェクトの開発、モンゴル郵便などの国営企業の民営化により予算歳入を増加し、実質GDP成長率を3%にすることが目標とされた。

3. 名目GDPの推移

2016年1～9月の名目国内総生産は前年同期比ほぼ横ばいの17兆2,589億トウグルク。名目成長率0.8%だが、実質成長率はマイナス1.56%と7年ぶりのマイナス成長となった。

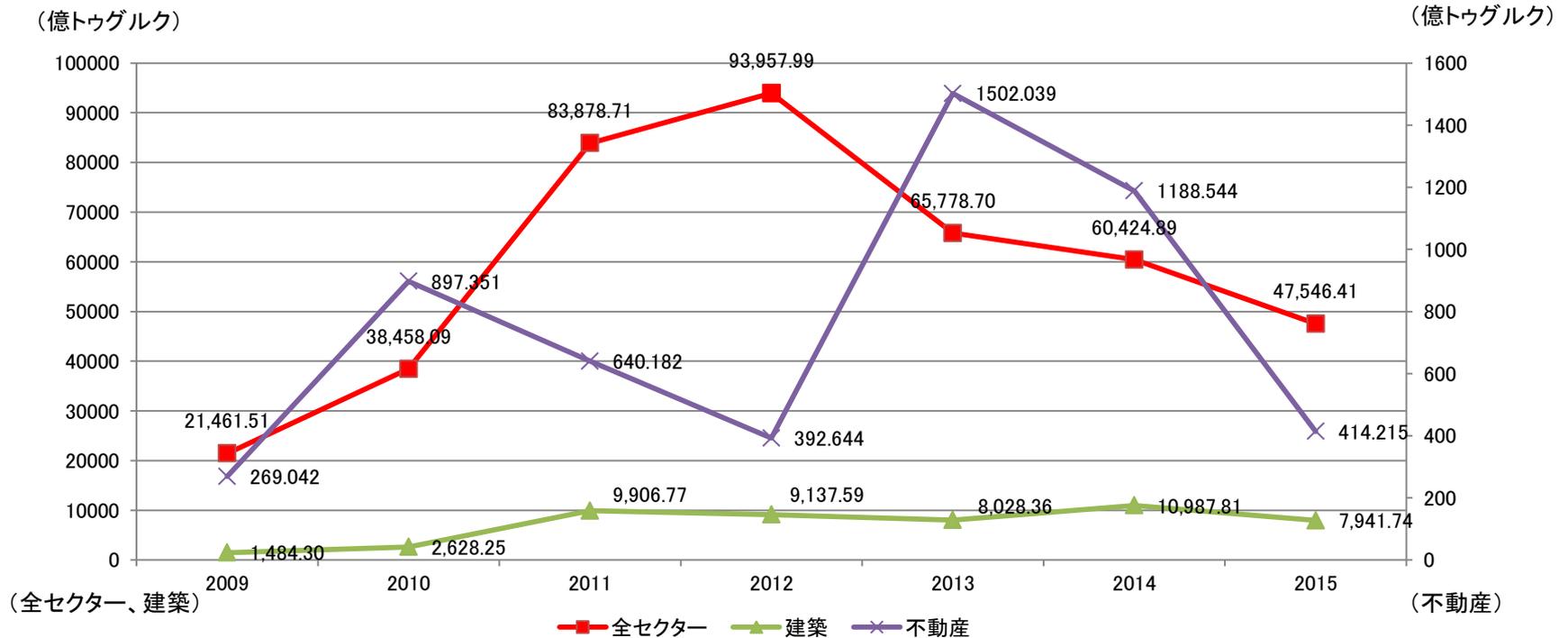


出所: 国家統計局

(生産額による定義)

4.固定資産投資

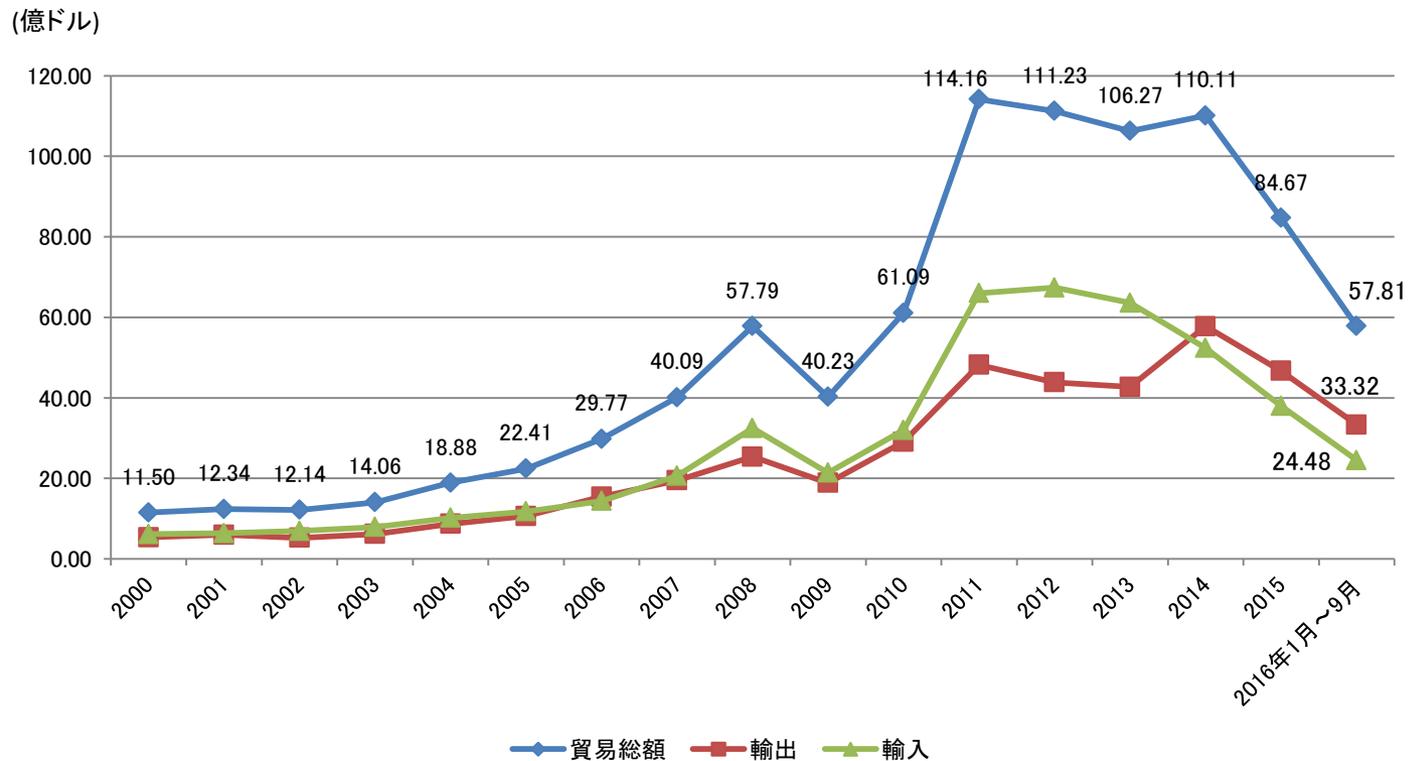
不動産投資は、建築業の価格安定化プログラムや8%の住宅ローンプログラムを背景に2013年まで急成長したが、不景気と住宅の供給過剰が原因で2014年以降は下がり続けている。



出所: 国家統計局

5. 対外貿易の推移

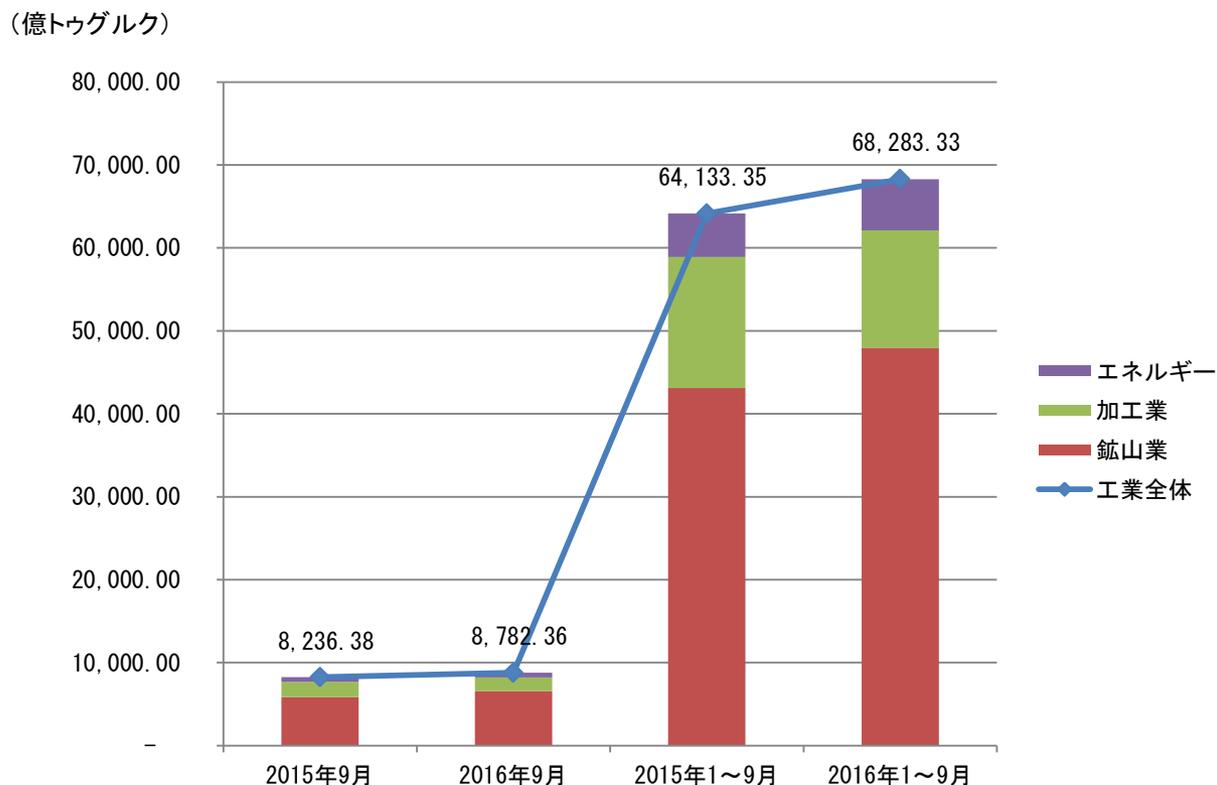
2016年1～9月の貿易総額は、前年同期比約10%減の57億8,100万ドルとなった。輸出額が33億3,200万ドル、輸入額が24億4,800万ドルで8億8,400万ドルの貿易黒字を計上した。



出所: 国家統計局

6. 名目工業生産の伸び率

2016年1～9月における名目工業生産は、前年同期比6.5%増の6兆8,283億トウグルク。6.5%の伸びは、主に工業生産の70%以上を占める鉱山業の生産が同11.3%増加したことによる。

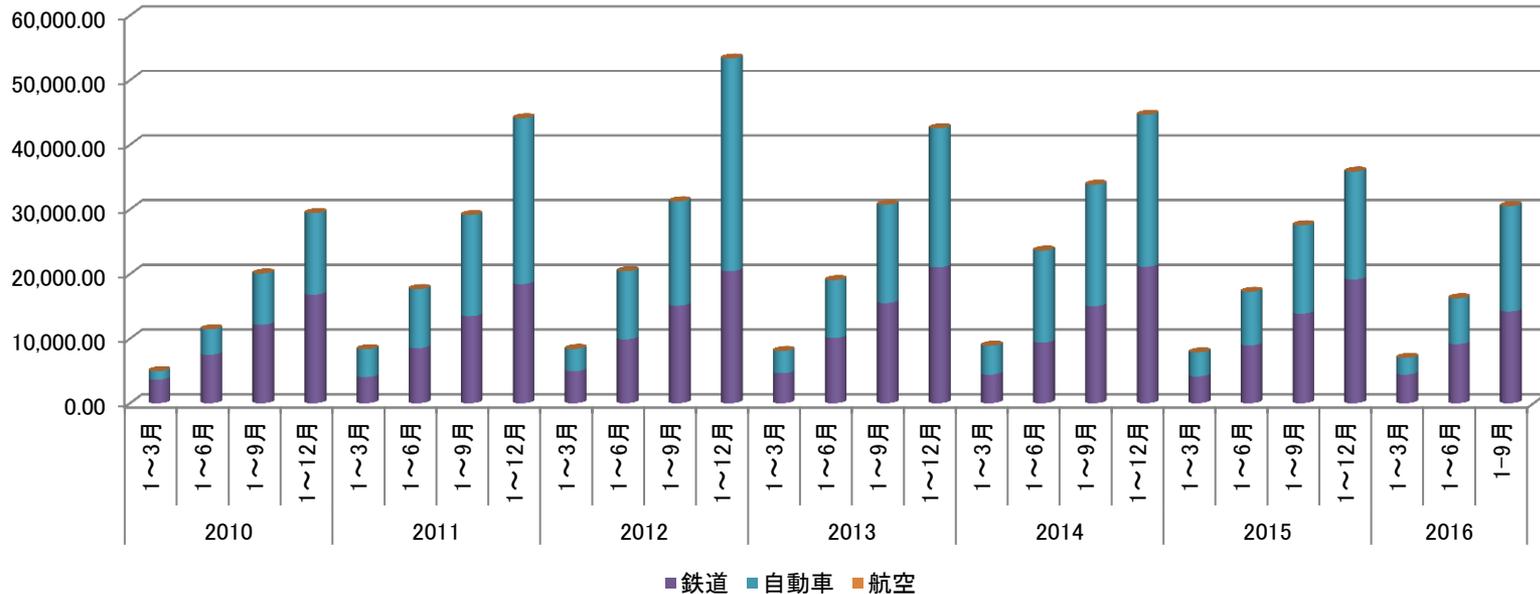


出所: 国家統計局

7.貨物輸送量

2016年1～9月の輸送総量は前年同期比11%増の3,051万トンだった。
交通手段別輸送量の構成比は、鉄道46.5%、自動車53.5%を占めている。

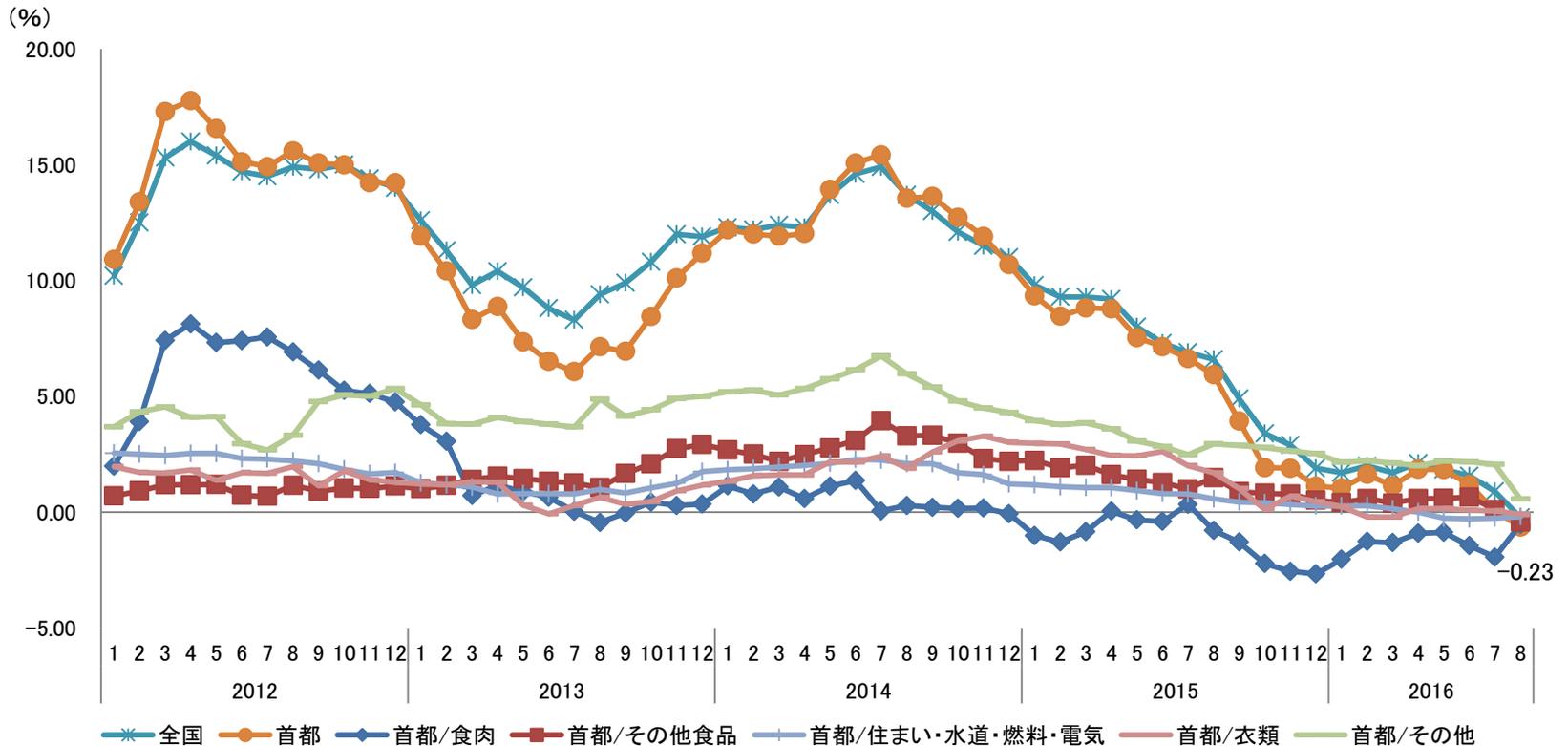
(1,000トン、増加分)



出所: 国家統計局

8.物価(CPI)

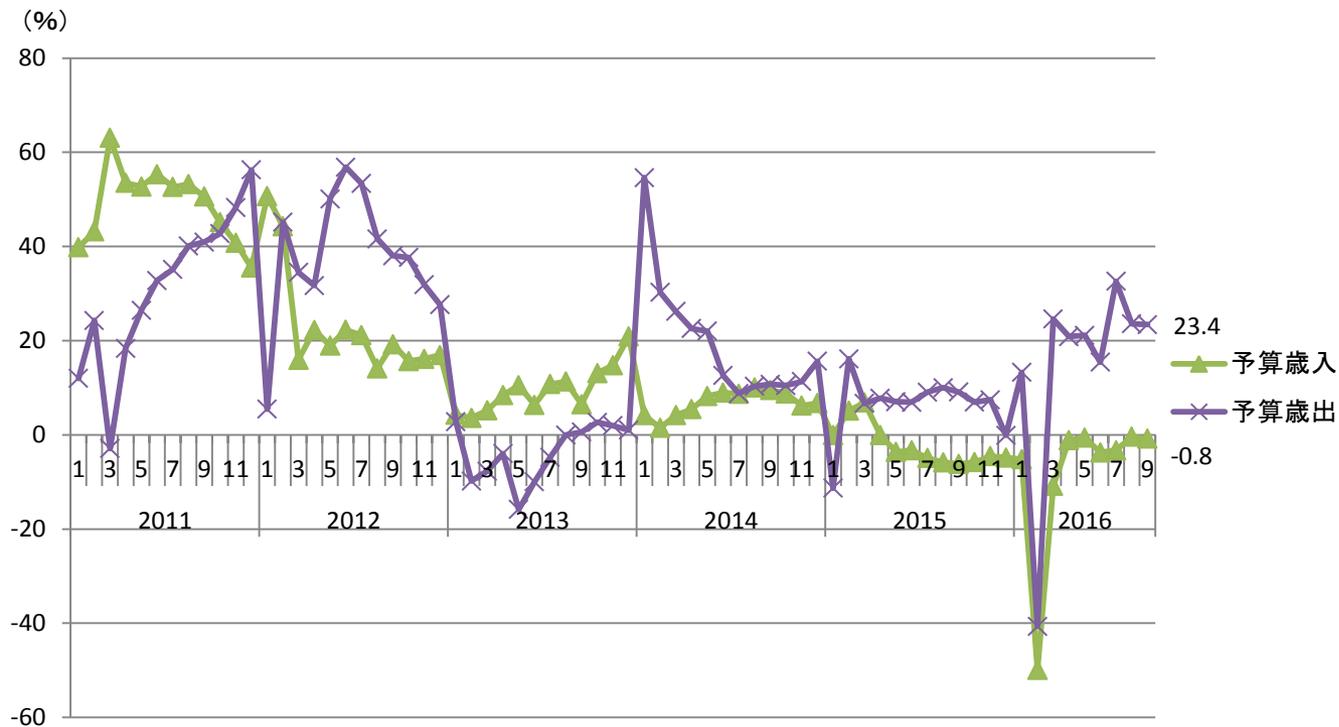
2014年後半から下落傾向にあるCPIは、2016年8月に1990年度以来、初めてマイナスに転じ、前年同月比-0.2%となった。



出所:モンゴル銀行

9. 予算歳入・歳出伸び率の推移

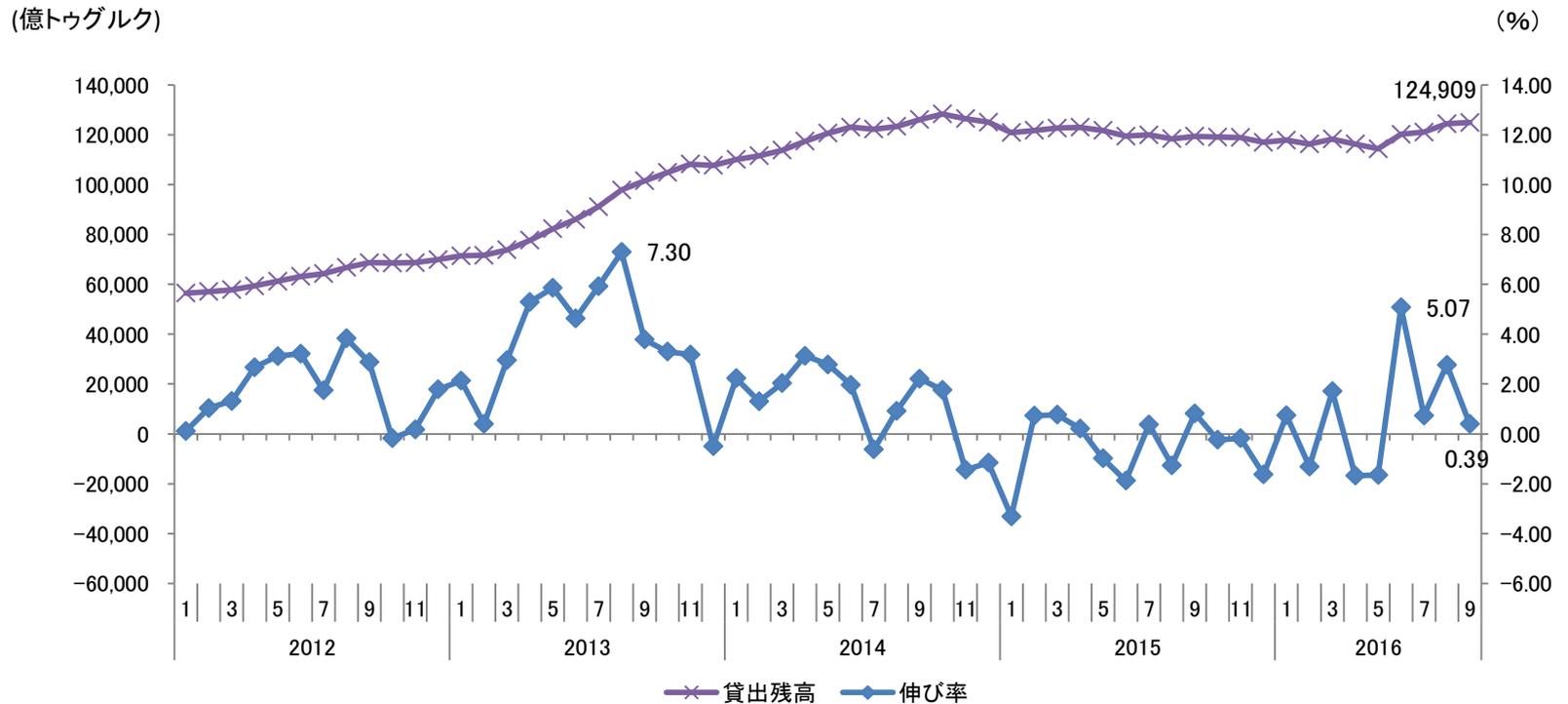
2011年には、急激に拡大した予算歳入の増加に伴い予算歳出も増大した。2015年以降は予算歳入が減少し続けているが、予算歳出の縮小は難しく、赤字が増大する現象が起きている。2016年9月には、予算歳出が前年同期比23.4%増の6兆644億トゥグルク、予算歳入が前年同期比0.8%減の4兆127億トゥグルクとなり、予算赤字が2兆トゥグルクを超過した。



出所: モンゴル銀行

10.貸出残高

2016年9月における貸出残高は、前月比ほぼ横ばいの12兆4,909億トウグルク。貸出残高の伸び率は2013年8月の7.3%以降、減速傾向にある。国会総選挙が行われた6月には約5%の伸びを見せたが、その後低下し続け、9月には0.39%に留まった。

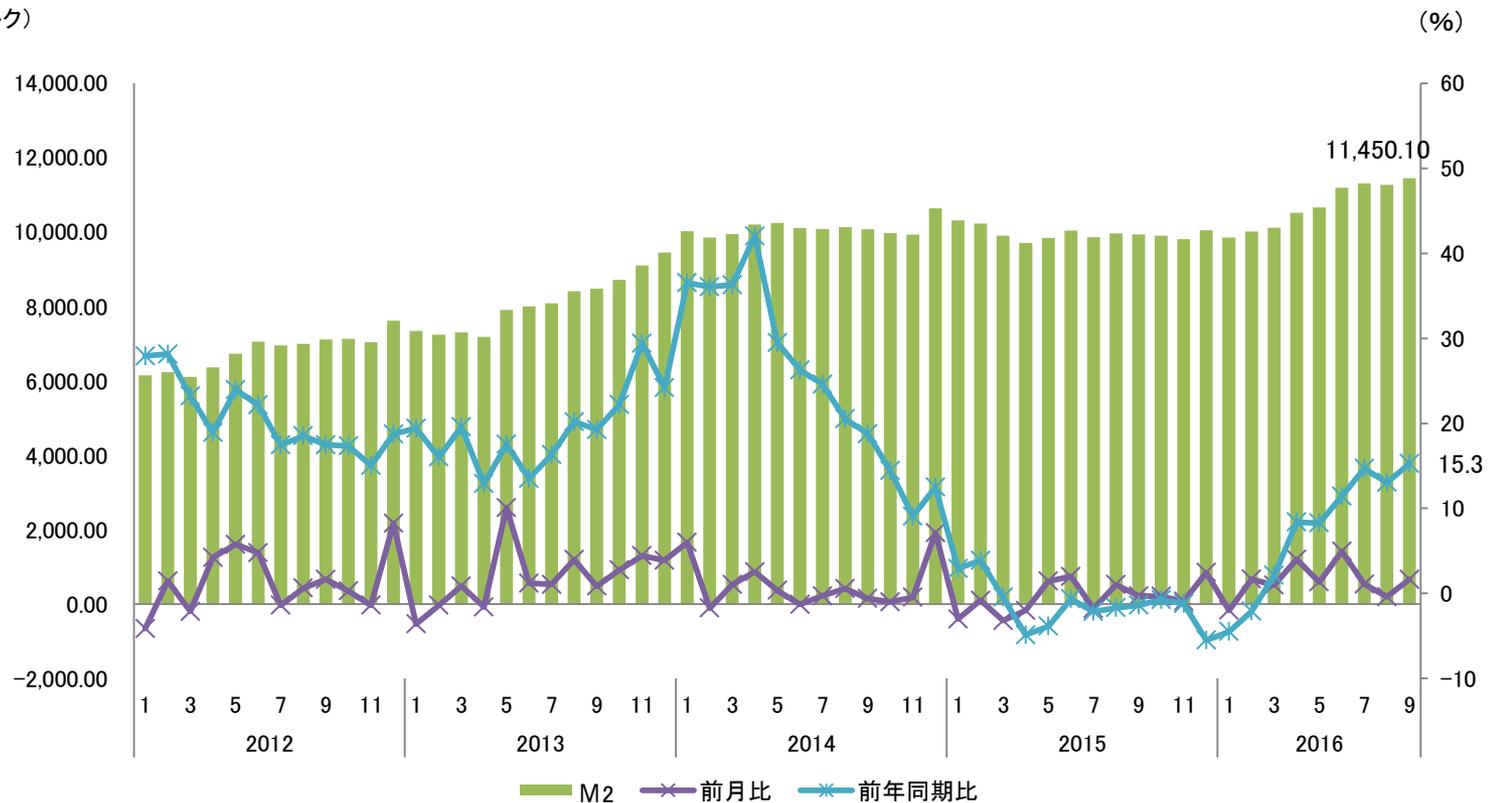


出所: 国家統計局

11.M2の推移

M2は、燃料や食料品の物価安定化プログラムや低金利住宅ローンプログラムの実施を受けて、2014年4月に42%増と大幅に増加した。2015年3月から2016年2月までマイナスの伸びとなったが、3月以降プラスに転じ、2016年9月には前年同期比15.3%増の11兆4,501億トウグルクになった。

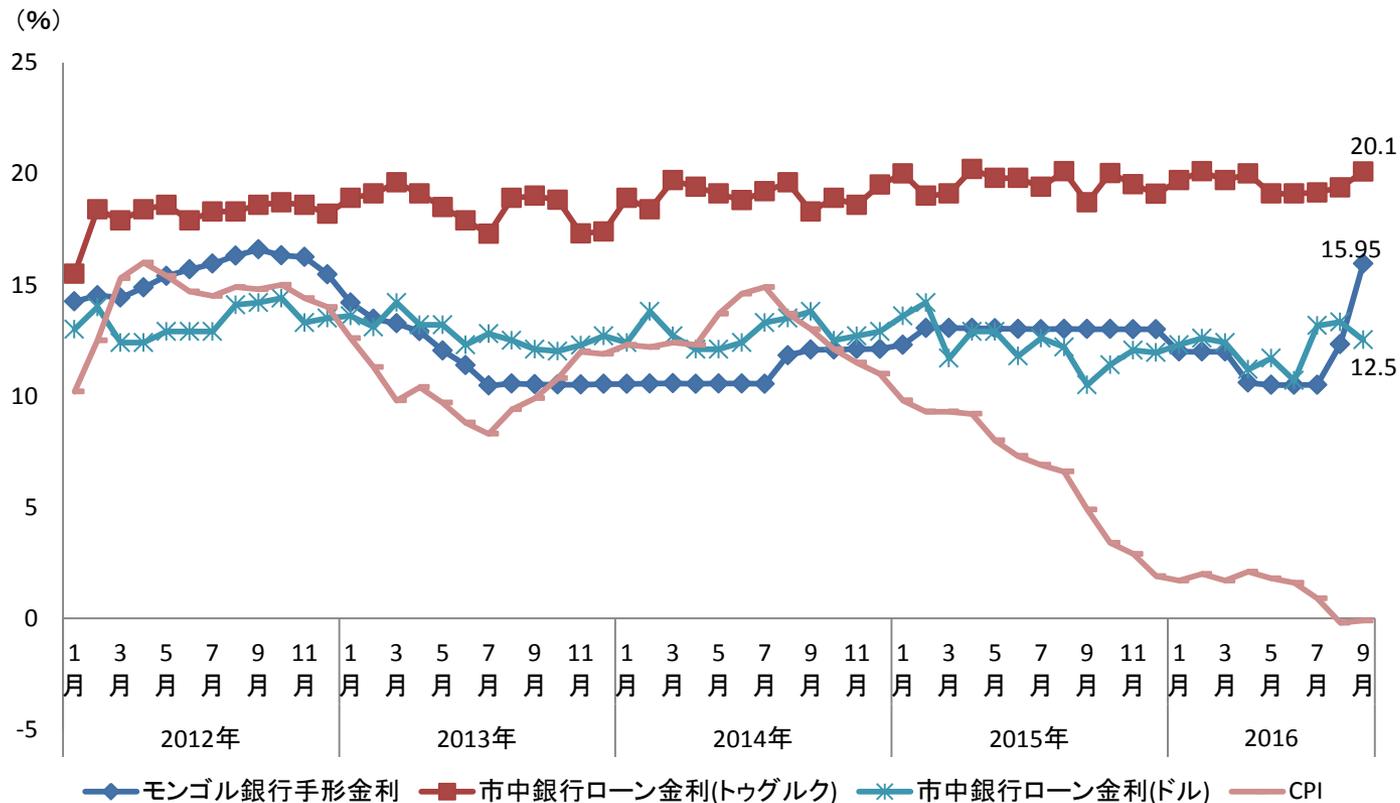
(10億トウグルク)



出所: 国家統計局

12.金利

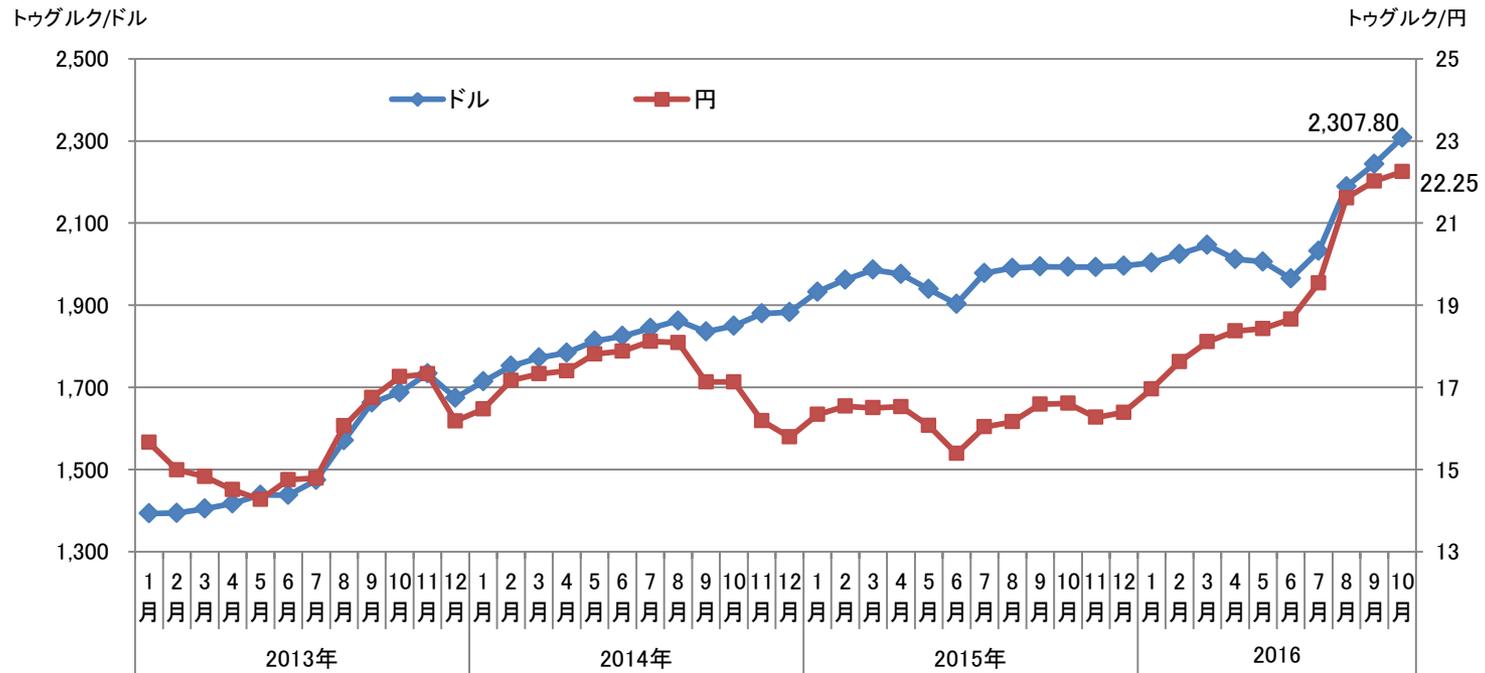
2016年9月の市中銀行トゥグルク建てローン金利は20.1%、ドル建てローン金利は12.5%。モンゴル銀行手形金利は、モンゴル銀行が公定歩合を10.5%から15%に引き上げた影響を受け、15.95%に上昇した。



出所:モンゴル銀行

13.対ドル・対円の為替レート

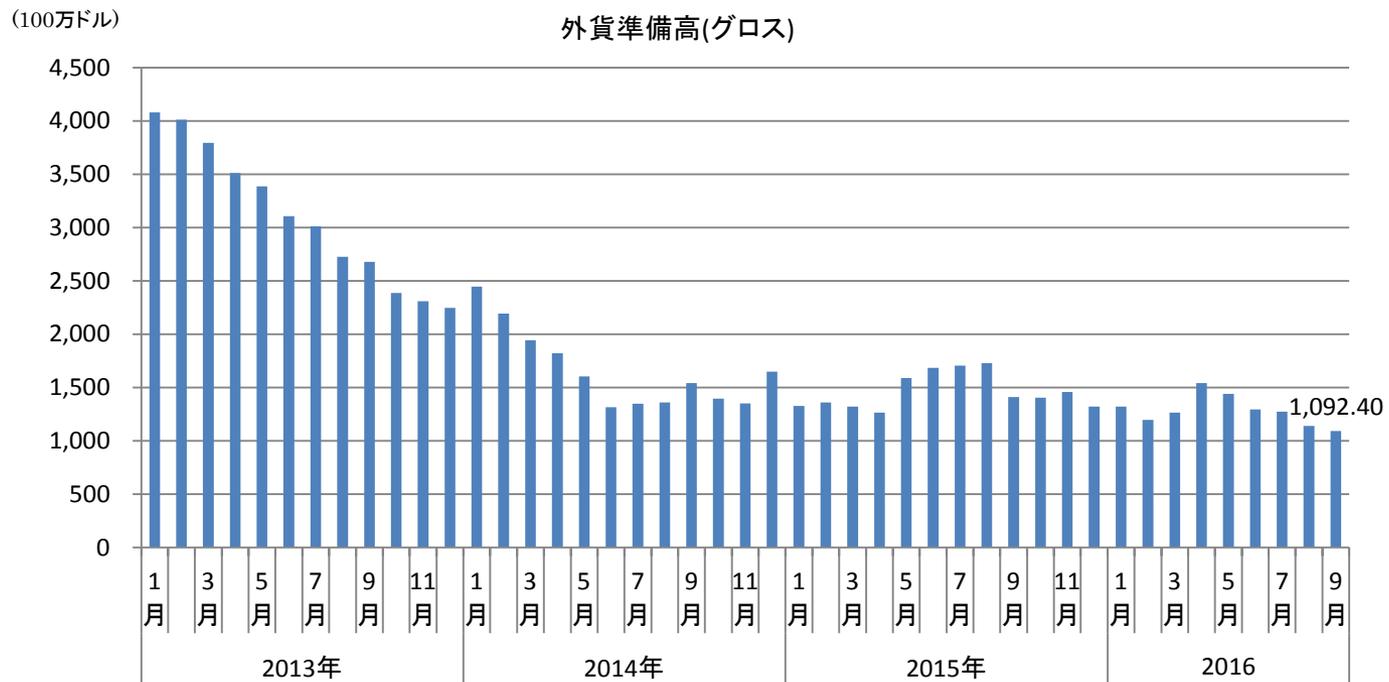
2016年7月からドル高・円高が加速し、2016年10月に1円＝22.25トゥグルク、1ドル＝2307.80トゥグルクとなり、両方とも最高値を更新した。



出所:モンゴル銀行

14.外貨準備高

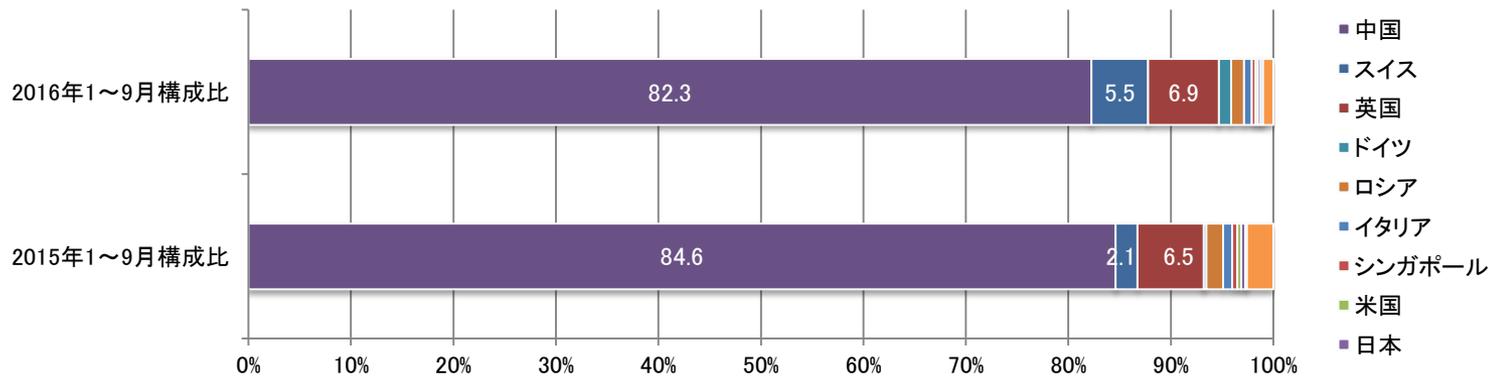
2016年9月末時点のグロス外貨準備高は、前年同期比320万ドル(22.7%)減、前月比約50万ドル(4.3%)減の10億9,240万ドルとなった。



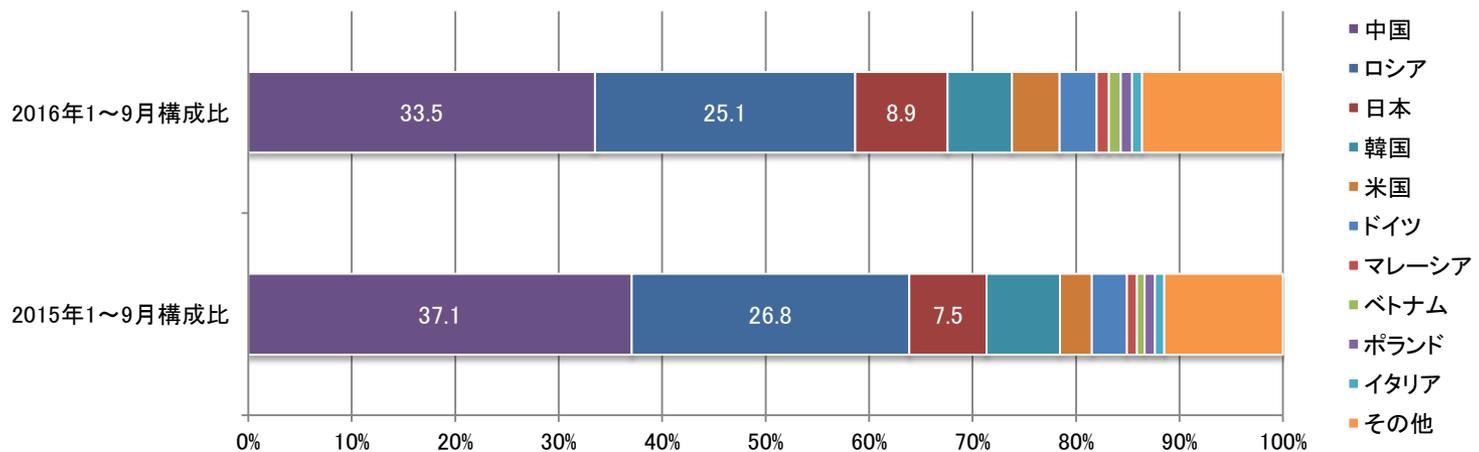
15. 主要国別輸出入

2016年1～9月の輸出実績は、中国向けが最大で前年同期比2.4ポイント減の82.3%を占めた。輸入は1位の中国、2位のロシアがそれぞれ3.6ポイント、1.7ポイント減少した。他方、日本は前年同期比1.4ポイント増の8.9%を占めた。

輸出相手国



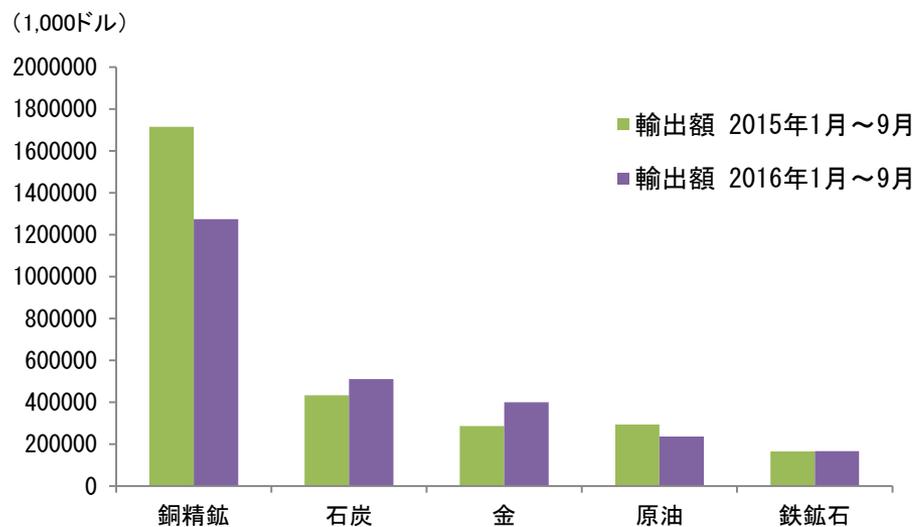
輸入相手国



16.主要輸出品目

2016年1～9月における主要輸出品目である鉱物の輸出額は、銅精鉱が前年同期比25.8%減であったが、石炭、金がそれぞれ同17.8%、39.6%と大きく増加した。

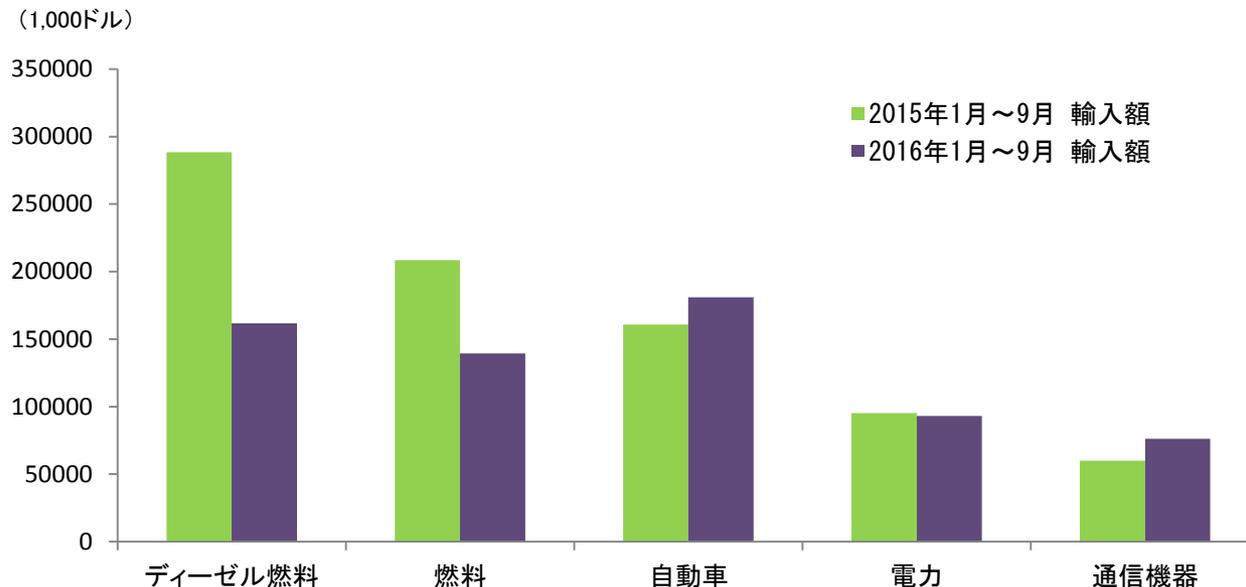
輸出品	輸出額(1,000ドル)		輸出額伸び率(%)
	2015年1～9月	2016年1～9月	
銅精鉱	1,715,386	1,273,572	-25.76
石炭	432,945	509,795	17.75
金	286,106	399,266	39.55
原油	293,065	236,533	-19.29
鉄鉱石	164,375	167,018	1.61
亜鉛	95,588	108,788	13.81
電気銅	53,635	50,696	-5.48
蛍石	47,335	45,568	-3.73
カシミア	28,657	26,027	-9.18
モリブデン	22,954	18,063	-21.31



17.主要輸入品目

2016年1～9月において、ディーゼル燃料、燃料は前年同期と比べ大幅に減少。
他方、自動車は輸入台数がほぼ横ばいだったものの、輸入額が前年同期比12.5%増の1億8,102万ドルとなった。通信機器も前年同期比27.0%増と大きく増加した。

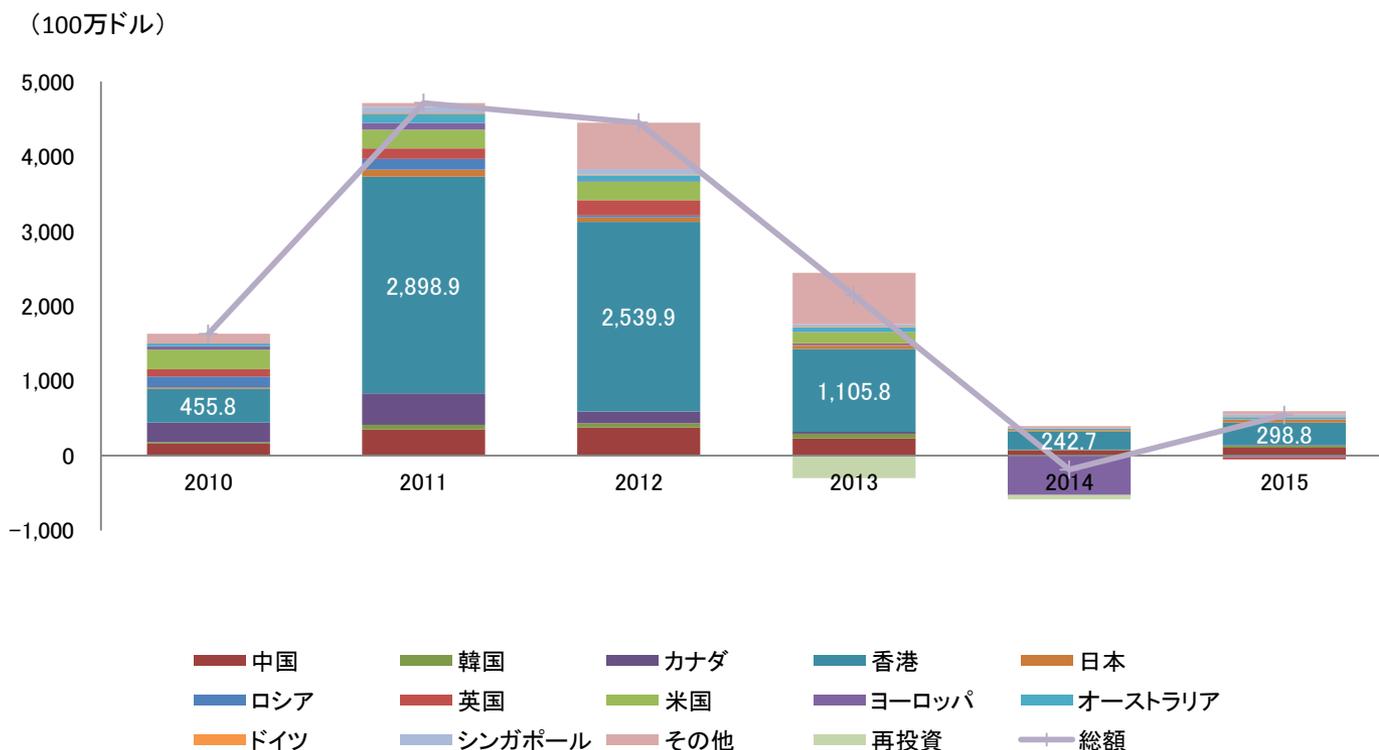
輸入品目	輸入額(1,000ドル)		輸入額伸び率(%)
	2015年1～9月	2016年1～9月	
ディーゼル燃料	288,376	161,855	-43.9
燃料	208,454	139,446	-33.1
自動車	160,912	181,015	12.5
電力	95,202	93,041	-2.3
通信機器	59,913	76,110	27.0



18.主要国・地域別直接投資額

直接投資が急増した2011年には、香港・カナダ・中国の3カ国・地域の合計が直接投資総額(47億1,500万ドル)の約8割を占めた。

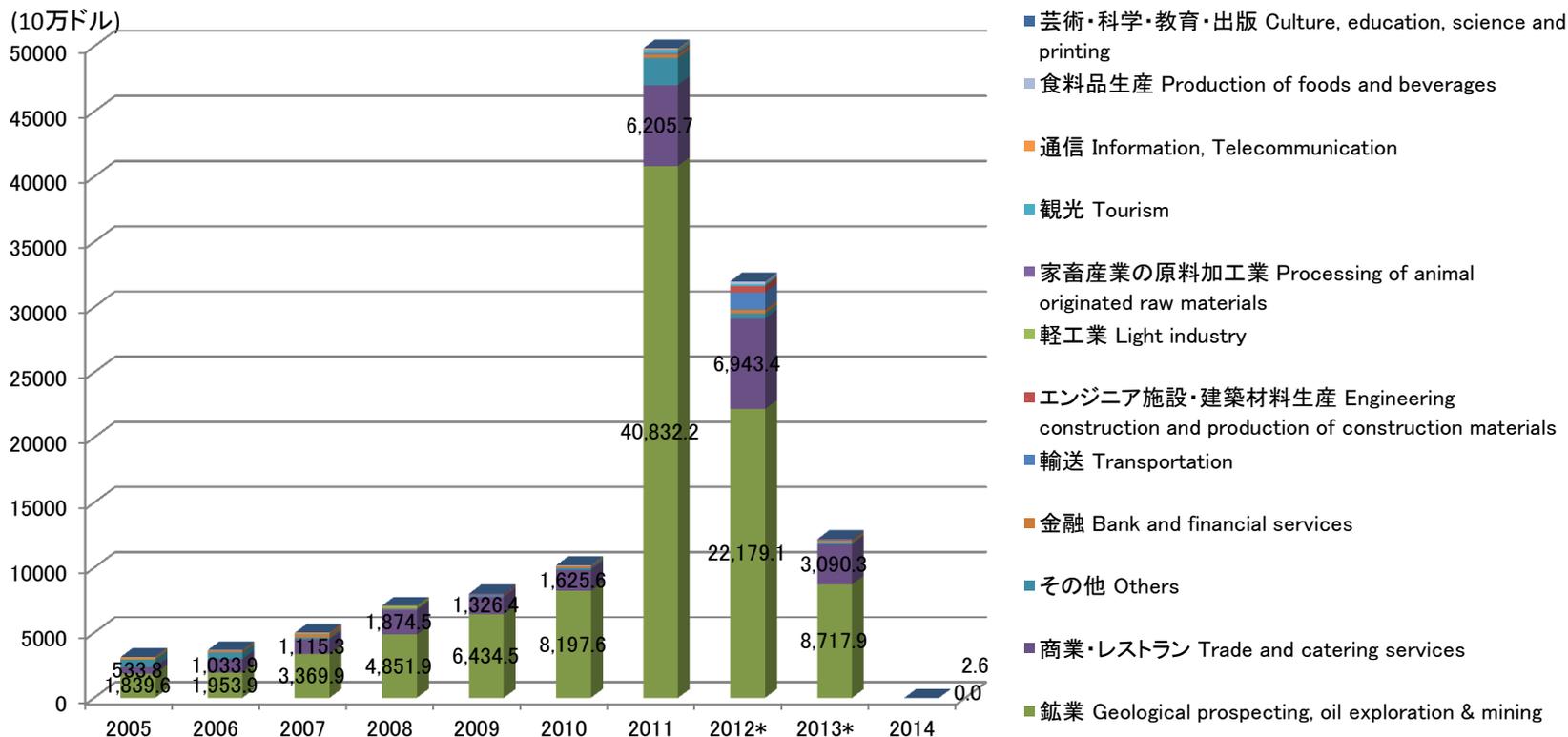
2015年時点で、香港が占める割合は最大であるが、2014年以降、香港からの直接投資は急減し、2015年はピーク時(2011年約29億ドル)の約10分の1の2億9,880万ドルにとどまる。



出所:モンゴル銀行対外セクター概要2010-2015

19. 主要業種別直接投資額

業種別直接投資額の推移は、主要経済指標と同様に2011年がピークとなる。投資額で鉱業に続く2位の商業・レストラン分野は、2008年～2009年の不況時にも緩やかな成長を維持したが、2013年以降急減した。



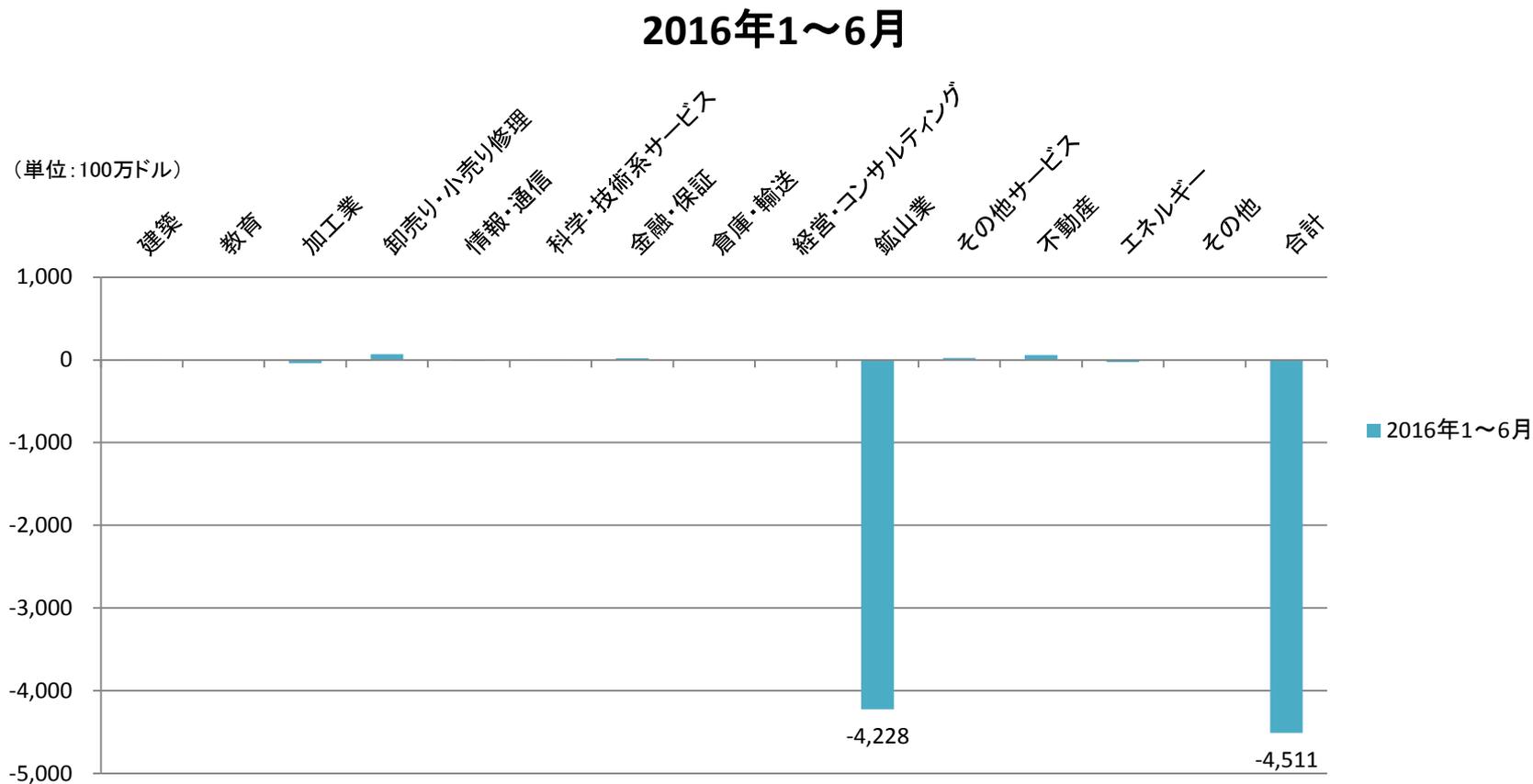
注1: 2012年の第4半期、2013年のデータにはモンゴル銀行の国際収支のデータが含まれていない。モンゴル銀行は、商業銀行の情報に基づいて直接投資を計算する。

注2: 上記データに直接投資として提供された輸入品(関税当局が処理するデータ)の情報は含まれていない。

出所: モンゴル政府・投資局

20.産業別直接投資額

2016年1～6月における産業別直接投資額については、鉱山業からの直接投資の引き上げ(マイナス 42億2,800万ドル)が目立つ。



21.主要国・地域別投資企業数

モンゴル政府・投資局によると、2015年8月現在の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万3,326社。このうち、中国が6,549社、全体の約5割を占めて最大。次いで韓国(2,333社)、ロシア(860社)、日本(557社)、米国(305社)等の順となっている。

22.主要業種別投資企業数

2015年8月現在、主要業種別の直接投資企業数の構成は、貿易・レストランが9,312社で全体の7割を占める。このほか、鉱業(416社)、エンジニア施設・建築材料生産(399社)、観光(318社)、軽工業(190社)、食料品生産(182社)、家畜産業の原料加工業(158社)、輸送(134社)、通信(110社)等となっている。

23.主要外資企業の新規投資事例

プロジェクト名: 50MW Tsetsii Wind Farm(TWF)ツェツエイ・ウインド・ファーム

投資企業: SBエネルギー、ソフトバンク・グループ、49%

モンゴル側の企業: Newcom LLC, 51%. (業種: 通信、不動産、エネルギー)

実行主体: 合同会社Clean Energy Asia LLC

協力主体: EBRD, JICA

製品: 風力エネルギー 50MW、2000kW*25発電機

実行地: モンゴル、ウムヌゴビ県、ツォグトツェツエイ・ソム(ウラーンバートル市から22キロ)

面積: 700ヘクター

発電開始予定: 2017年12月



写真1: 完成イメージ

出所: ニューコム・グループのホームページ newcom.mn



写真2: オープニング・セレモニー
(2016年11月23日)

出所: Clean Energy Asia LLC



写真3: 貸付資金調達合意署名式(2016年9月28日)

出所: Clean Energy Asia LLC

24.モンゴル企業の動向

YURI-M, 日本へのペットフードの輸出を目指す

会社概要

会社名	YURI-M LLC (ユリーエム有限会社)
所在地	モンゴル、ウランバートル
創立	2005年
資本金	30千万円
株主	モンゾル株式会社
主な事業	食品の生産・販売、飲食店運営、イベント企画
従業員数	12人
新規プロジェクト	”UMA-P” ペットフード生産・販売 ”Cheesecake Factory” レストランのフランチャイズ ”Bee’zz” ハチミツ生産、販売



事業概要

モンゴル産馬肉を使った、オーガニックペットフードの生産・輸出
ドッグチュウチーズ /モンゴル産牛製品/



ターゲット

1才以上の全犬種

今後の商品開発

2016~2017年: ドライタイプの犬用プレミアムフード、
補助食品、スナック
2018年以降: ウェットタイプの犬用プレミアムフード、
ドライタイプの猫用プレミアムフード

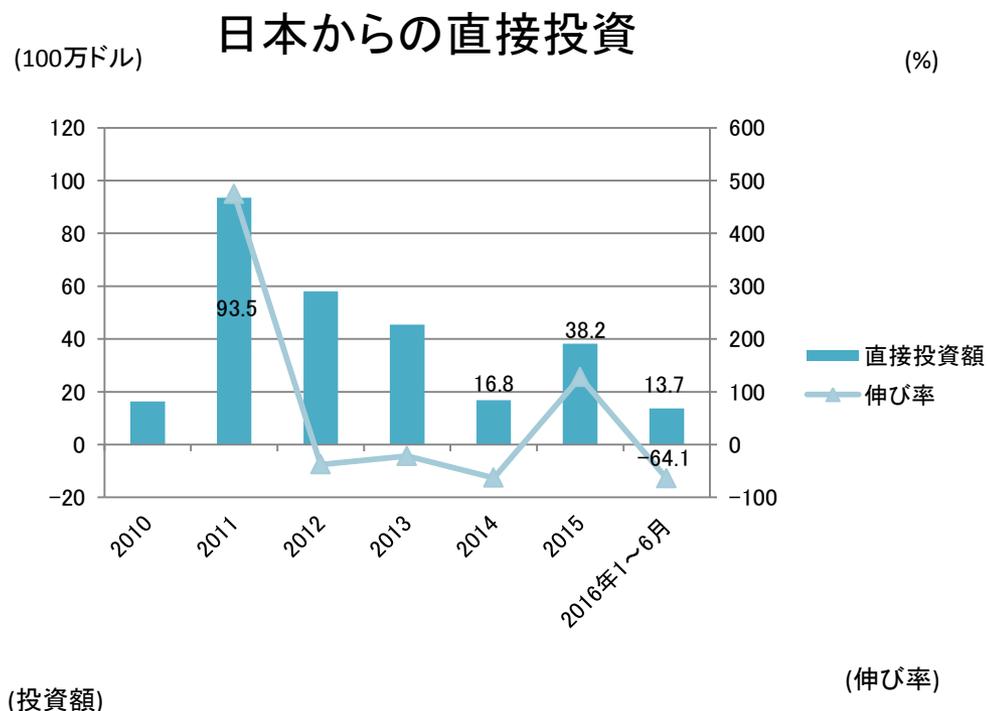


写真出所: YURI-M LLC

25. 日本からの直接投資

日本からの直接投資は、2011年の9,350万ドルから2014年に1,680万ドルまで減少したが、2015年には3,820万ドルに増加した。主な業種は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどの分野となっている。2016年1～6月の直接投資は1,370万ドルだった。

主要投資企業名(順不同)



- KDDI
- 澤田ホールディング
- 賛光精機
- 丸紅
- 双日
- 三菱商事
- 住友商事
- スルガコーポレーション
- 会沢高圧コンクリート
- ネクサス
- 旭栄工務、
- いずみガーデン
- 東海運
- SBエナジー
- KPMGあずさ監査法人
- サイサン
- 日産自動車
- オリックス

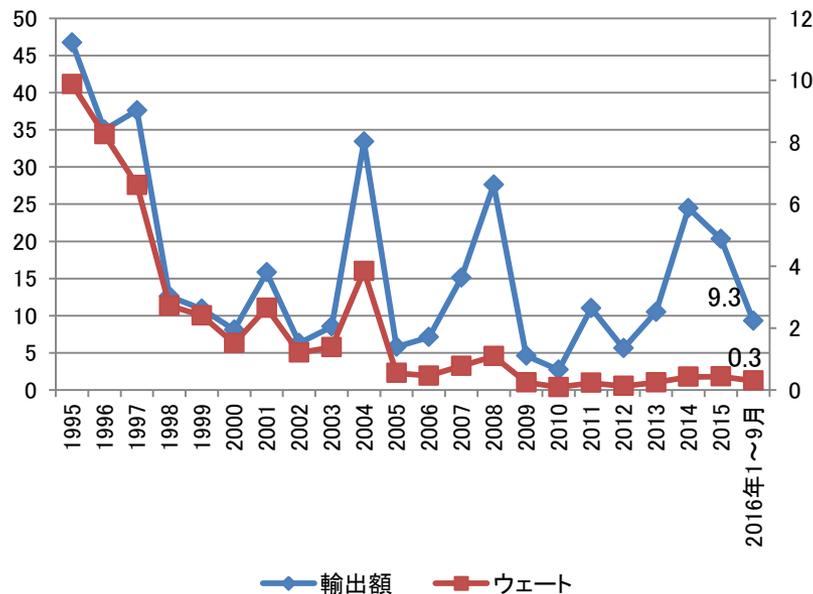
出所: モンゴル銀行対外セクター概要2010-2015

出所: [日本モンゴル貿易投資データブック2013](#)

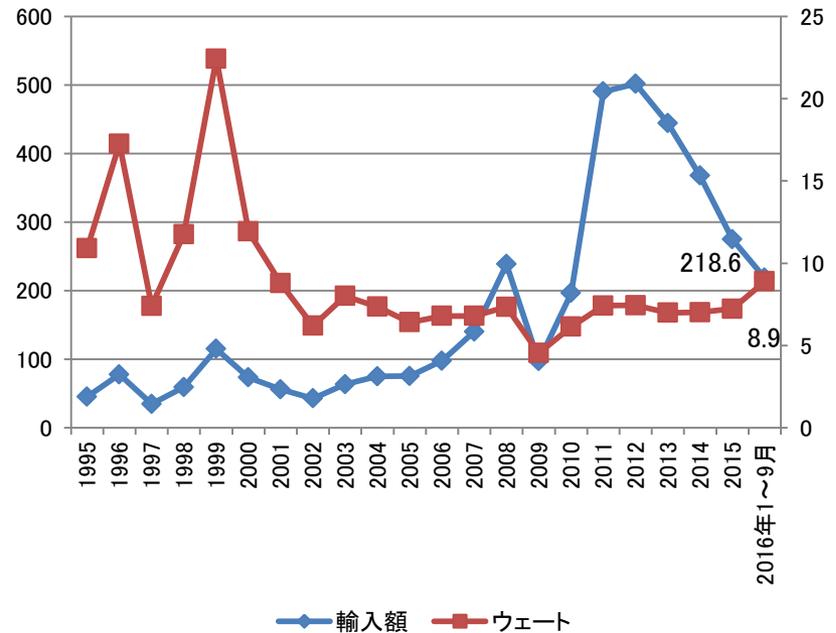
26. 日本との貿易概況

2016年1～9月の対日輸出額は932万ドルで、構成比は0.3%と2015年通年から0.1ポイント縮小した。他方、対日輸入額は2億1,858万ドルで、構成比は8.9%と2015年通年から1.7ポイント拡大した。

(100万ドル) 【対日輸出】 (%)



(100万ドル) 【対日輸入】 (%)



27.日本との主要貿易品目

2016年1～9月の日本向け輸出は業務用動物の微細毛・糸、梳毛・毛織物、コーマ糸・織物、上着・その他織物上着、スカーフ・ショールなど衣類・同付属品が総額の37%を占めた。日本からの輸入は、輸出額の約23倍で、うち自動車は69.4%を占めた。

(単位:1,000ドル)

輸出品	構成比	金額
アルミニウム系	12.5%	1,164.4
動物の腱、筋及び原皮くず	11.2%	1,042.5
業務用動物の微細毛、糸	10.5%	982.7
上着、その他織物上着	10.4%	967.0
機械系	9.4%	873.0
スカーフ、ショール	6.0%	555.0
梳毛、毛織物	5.1%	476.7
コーマ糸、織物	5.0%	468.7
その他	30.0%	2,794.3
輸出品合計		9,324.5
輸入品	構成比	金額
自動車	69.4%	151,739.0
その他	30.6%	66,845.8
輸入品合計		218,584.8

出所:税関局

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20160121>

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32
TEL : 03-3582-5181
E-mail : ORG@jetro.go.jp